

滋看協第340号
平成30年10月9日

各病院長様

公益社団法人滋賀県看護協会
会長 廣原 恵子

公印
省略

平成30年度 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上
研修会の開催について（ご案内）

平素は当協会の運営につきまして、格別のご支援ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、認知症高齢者がますます増加する中、病院の医療従事者には認知症の人や家族を支えるための対応力の向上が求められています。

そこで、当協会では昨年度に引き続き、滋賀県からの受託で一般病院勤務の医療従事者を対象とした標記研修会を開催いたします。

この研修会は、国の「認知症施策推進5ヵ年計画(オレンジプラン)」(平成25年～平成29年度)、現「新オレンジプラン(平成27年1月27日～)」事業の一環として開催するものです。

したがって、受講後は認知症対応力向上の推進者として、各施設においてご指導に当たっていただくことになります。

つきましては、別紙開催要項に基づき受講者を募集いたしますので、貴所属の医師、看護師等の医療従事者の皆様の参加について、ご配慮のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、お申し込みは別添の申込書により期日までにお申し込みください。

*今年度は滋賀県看護研修センターのみの開催になっております。ぜひご受講ください。

【お問い合わせ先】

公益社団法人滋賀県看護協会 担当:岡本・黄瀬

〒525-0032 草津市大路2丁目11番51号

TEL 077-564-6468

FAX 077-562-8998



平成 30 年度 滋賀県病院医療従事者認知症対応力向上研修会 開催要項

1. 目的：病院勤務の医師、看護師等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、多職種連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識について修得するための研修を実施することにより、病院での認知症の人の手術や処置等の適切な実施の確保を図ることを目的とする。
2. 主催：滋賀県（事業委託：公益社団法人滋賀県看護協会）
3. 研修内容：標準的なカリキュラムに基づく（別紙 参照）
4. 開催日時：平成 30 年 12 月 13 日（木）13 時 20 分～17 時 00 分
5. 開催場所：滋賀県看護研修センター
草津市大路二丁目 11-51
6. 対象：滋賀県内病院の医師、看護師等の医療従事者
7. 定員：50 名
8. 参加費：無料
9. 申込方法：別紙申込用紙に必要事項を記入し、応募期間内に FAX にて提出する。
10. 応募期間：平成 30 年 11 月 1 日（木）～11 月 10 日（土）（厳守）
11. 修了証：研修修了者に対し、県が作成する修了証書を交付する。
修了証書番号、修了年月日、氏名、生年月日等必要事項を記入した名簿を作成し、管理する。
12. 申込み・お問合せ先：公益社団法人滋賀県看護協会（担当：岡本・黄瀬）
〒525-0032 草津市大路 2 丁目 11 番 51 号
TEL 077-564-6468
FAX 077-562-8998

(別紙) 標準的なカリキュラム
 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修

		研修内容
I 目的 (15分)	ねらい	認知症の人の視点で、認知症ケアに求められていることを理解する
	到達目標	1 研修の目的を理解する 2 認知症の人の視点で、対応への課題を理解する 3 認知症の人を取り巻く施策等について理解する
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入院する認知症の人に起こっていること ・認知症の人の将来推計 ・認知症に関連する国の施策（研修の背景） ・一般病院での認知症対応のための体制整備の要点
II 対応力 (60分)	ねらい	疾患を理解し、入院中の対応の基本を習得する
	到達目標	1 疾患の特徴を理解する 2 入院生活における認知症の人の行動の特徴を理解し、対応方法について習得する 3 各専門職の役割と院内連携について理解する
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の病型、症状、軽か ・治療薬と薬物以外の療法とケア ・介護者への支援 ・認知症の人の理解 ・認知症ケアの基本 ・行動・心理症状（BPSD）への対応 ・せん妄への対応 ・各医療従事者の基本的な役割と院内連携上の役割
III 連携等 (15分)	ねらい	院内・院外が多職種連携の意義を理解する
	到達目標	1 多職種連携の意義とメリットを理解する 2 院内・院で多職種連携する必要性について理解する 3 多職種で行うカンファレンスの要点を理解する
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携のメリット ・入院前、退院後も含めた多職種・他機関連携 ・多職種で行うカンファレンス ・入院時・退院時カンファレンスの主な検討課題

平成 30 年度 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修会プログラム

ねらい 高齢化の進展に伴い認知症高齢者がますます増加し、認知症の人が認知症疾患以外でも医療機関に入院や通院することが多くなってきており、認知症の人が安心して医療を受けられる体制が求められている。

そこで、病院勤務の医師、看護師等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識について修得するための研修を実施する

タイムスケジュール

13:20 ～13:30	オリエンテーション 開会 挨拶・趣旨説明等
13:30 ～15:00 (90分)	講義 ① 「目的」対象者の現状、研修の背景、認知症対応の体制整備の要点 ② 「対応力(知識)」認知症の理解(症状・治療・ケア) 「対応力(実践)」認知症の人の理解、ケアの基本 ケアのポイント(BPSD、せん妄を中心に) 各職種の基本的な役割 ③ 「連携」多職種連携のメリット カンファレンス開催の要点・検討課題
(10分休憩)	
15:10 ～16:40 (90分)	演習 「演習」 事例の提示 発表・まとめ 質疑応答
16:45～17:00	アンケート記載・回収 閉会 (修了証授与)

*国の指導による、おおよその時間配分です(休憩は適宜)

平成30年度 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修会プログラム

日 時： 平成30年12月13日（木）13：20～17：00

講 師： 〈講義〉

松井 大 先生 認知症専門医 （大津赤十字病院 脳神経内科部長）

中嶋 博吉先生 認知症看護認定看護師 （済生会滋賀県病院）

〈演習支援講師〉 演習支援講師 認知症看護認定看護師

中田貴子氏 （大津赤十字病院）

中嶋博吉氏 （済生会滋賀県病院）

三上千恵氏 （友仁山崎病院）

植野 勉氏 （公立甲賀病院）

藤井裕子氏 （彦根市立病院）

ねらい 高齢化の進展に伴い認知症高齢者がますます増加し、認知症の人が認知症疾患以外でも医療機関に入院や通院することが多くなってきており、認知症の人が安心して医療を受けられる体制が求められている。

そこで、病院勤務の医師、看護師等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、多職種連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識について修得するための研修を実施する。

日 程

13：20～13：30 オリエンテーション

開会

13：30～15：00 講義

①「目的」対象者の現状、研修の背景、認知症対応の体制整備の要点

②「対応力（知識） 認知症の理解（症状・治療・ケア）

（実践）」 認知症の人の理解、ケアの基本

ケアのポイント（BPSD、せん妄を中心に）

各職種の基本的な役割

③「連 携」多職種連携のメリット、

カンファレンス開催の要点・検討課題

（10分休憩）

15：10～16：45 演習

事例提示

発表・まとめ

質疑応答

アンケート記載・回収

16：50～17：00

閉会式

修了証書 交付